



Mozart-Kammerorchester
121.Regulärkonzert



指揮:門 良一

モーツァルト室内管弦楽団

第121回定期演奏会



トランペット:大西由起

ソプラノ:成毛未来
(新人歌手オーディション合格者)

2009年 《没後200年記念ハイドン・シリーズ》第2回 〈モーツアルトとハイドン〉その1

2007年9月30日(日)

2:00pm開演 (1:30pm開場)

1時45分より指揮者によるプレトークがあります

いづみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分。
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

入場料:一般 ¥4,500(指定席)

学生 ¥2,000(当日限定数発売)

※小学生よりご入場頂けます。

※前売一般券完売の場合、学生券の販売はありません。

- | | |
|--------|--|
| モーツアルト | 交響曲第39番 変ホ長調 K.543 |
| ハイドン | トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIIe-1 |
| モーツアルト | 《後宮よりの誘拐》K.384 より
ヨシスラシツェのアリア《私は恋をしていました》 |
| ロッシーニ | 《セヴィリアの理髪師》より
ロジーナのアリア《今の歌声は》 |
| ハイドン | 交響曲第103番 変ホ長調
《太鼓連打》Hob.I-103 |

主催◆モーツアルト室内管弦楽団 協賛◆いづみホール(財団法人 住友生命社会福祉事業団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909

前売◆大阪アーティスト協会 050-5510-9645 いづみホール 06-6944-1188 電子チケット販売 0570-02-9990

『ハイドンを忘れてもらっては困ります』

モーツァルトはその生誕250年を世界中が祝った。ベートーヴェンは不動の人気を誇っている。〔ウィーン古典派〕と呼ばれる3巨匠のうちで筆頭であるべきハイドンは、この二人の後塵を拝しているのが現状である。だが、もしハイドンがいなければ、モーツァルトやベートーヴェンの交響曲も弦楽四重奏曲もこの世に存在しなかっただろう。いわゆる古典音楽の基本スタイルはハイドンによって創造され確立されたのである。また、ハイドンの音楽の持つ健康さとユーモア、そして品格ある秩序感は、今の世に最も必要とされるものであろう。モーツァルト室内管弦楽団はハイドン復興をめざし、2009年の没後200年に向けて〈ハイドン・シリーズ〉を行っている。

『ハイドンを忘れてもらっては困ります』—これは、フランス映画「ハンカチのご用意を」の中で、主人公の少年がモーツァルトばかり聴かせる音楽教師に対して抗議することばである。川本三郎氏著「東京つれづれ草」(1995年三省堂)から引用させていただいた。



モーツァルト室内管弦楽団／指揮・門 良一

Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、35年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツアルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツアルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツアルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツアルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツアルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ビリス('85、'87年)、シブリアン・カツアリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツアルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツアルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツアルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。

大西由起 ● トランペット

Yuki Oonishi, Trompete



聖母学院小学校、中学校、高等学校を経て京都市立芸術大学及び大学院音楽研究科卒業。在学中、ロームミュージックファンデーション主催「第一回京都音楽学生フェスティバル'93」に於いてJ.S.Bach作曲「ブランデンブルク協奏曲 第二番」のソロトランペットを務め好評を博す。トランペットを有馬純昭氏に、室内楽を呉 信一、岩崎 勇の各氏に師事。現在フリーのトランペット奏者として関西の主要オーケストラへエキストラ奏者として参加する他、ソロ、アンサンブルなどの分野で活動している。京都シティプラスアンサンブル、ジャパンアカデミートランペットアンサンブルの各トランペット奏者。山田音楽院、ユリ楽器、池本楽器、アルモミュージック各トランペット講師。

成毛未来 ● ソoprano

Miki Narimo, Sopran



武庫川女子大学音楽学部声楽学科卒業。同大学声楽専攻科修了。武庫川女子大学音楽学部第38回定期演奏会にソプラノソリストとして出演。第45回武庫川新人演奏会、2005年度京都府新人演奏会、第24回フレッシュコンサート、第47回関西新人演奏会出演。兵庫県立芸術文化センターで行なわれたレナード・アサトン教授による、第2回合唱指揮者のための講習会のモデルソリストとして修了演奏会に出演。益子 務に師事。モーツアルト室内管弦楽団第1回新人歌手オーディション合格。